

**当院の急性胆嚢炎に対する経皮経肝
胆嚢ドレナージ (PTGBD) 後の超音波内視鏡下
胆嚢ドレナージ (EUS-GBD) による内瘻化の検討
情報公開文書**

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

急性胆嚢炎の治療として PTGBD を行うことがありますが、様々な理由で抜去できない場合、EUS-GBD による内瘻化を行うことがあります。PTGBD を留置し続けるよりも高い QOL を期待することができ、また手術よりも侵襲度が低いことがメリットですが大変高度な手技であり、重篤な合併症を来すリスクがあります。

今回、この手技を PTGBD を留置した状態で行うことにより、より安全に処置ができるかどうか検討しました。

研究期間

2021 年 8 月 1 日から 2024 年 7 月 31 日 (3 年間) の予定

研究の対象となる方

2013 年 9 月から 2021 年 4 月の間に日本赤十字社和歌山医療センター消化器内科で急性胆嚢炎に対し EUS-GBD による内瘻化処置を施行された方。

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、鎮痙剤の有無別に病変検出率に差があるかどうかを統計学的に調査します。

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつながりません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

重里 徳子 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

上野山 義人 第二消化器内科 部長
山下 幸孝 第一消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課

電話 073-422-4171（代表電話）

所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通 4-20